



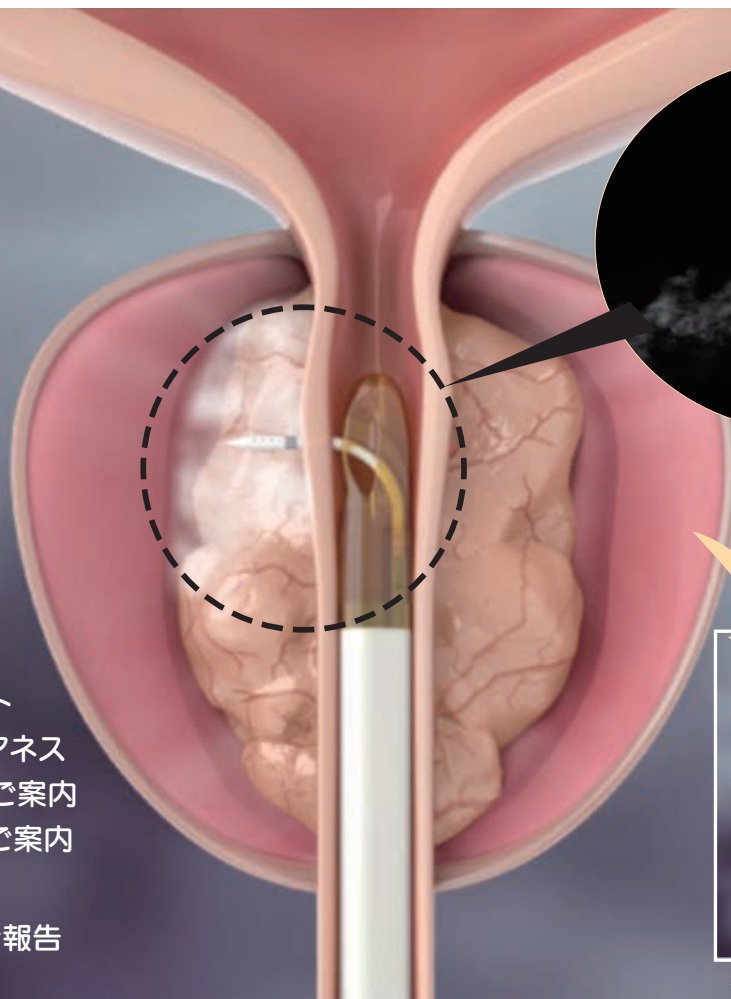
コスモスだより

【ニューストピックス】

泌尿器科

前立腺肥大症の最新療法

経尿道的水蒸気治療 (WAVE)



【お知らせ】

産婦人科 AI 問診のご案内
病院ボランティア活動レポート
乳がん検診とブレスト・アウェアネス
出前講座のご案内
市立貝塚病院市民公開講座のご案内
＝医療従事者向け情報＝
第 10 回こすもす懇話会のご報告

写真：Boston Scientific 社提供

病院の理念 基本方針

地域住民を支える良質な医療の提供

1. 地域の中核病院として、住民の方々の健康を守ります。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実を目指します。
3. 急性期医療に加え、緩和ケア、在宅支援など、地域の医療機関との連携を密にし、地域の中で信頼される病院を目指します。
4. 住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく暮らし続けることができる「地域包括ケア」の推進に努めます。
5. すべての職種が協働して治療に取り組むチーム医療を実践します。
6. 合理的で健全な経営を推進し、職員一人ひとりが働き甲斐のある環境を整備します。

発行：市立貝塚病院 広報委員会

泌尿器科 前立腺肥大症の最新療法 経尿道的水蒸気治療 (WAVE)

前立腺肥大症は50歳では30%、60歳では60%、70歳で80%、80歳で90%が罹患しているといわれる程、男性にとっては身近な疾患です。その前立腺肥大症の新たな治療法「経尿道的水蒸気治療 (WAVE)」が2022年9月に保険適応となりました。当院でも2023年4月よりこの術式を採用。従来の術式「経尿道的前立腺切除術 (TUR-P)」と共に、前立腺肥大症の治療を行っています。

今回は、より患者さんへの負担が少なく、手術が難しかった方への手術適応も可能にした「経尿道的水蒸気治療 (WAVE)」についてご紹介します。

肥大した組織に水蒸気を噴射して壊死 (縮小) させる
より低侵襲な前立腺治療法です

最新

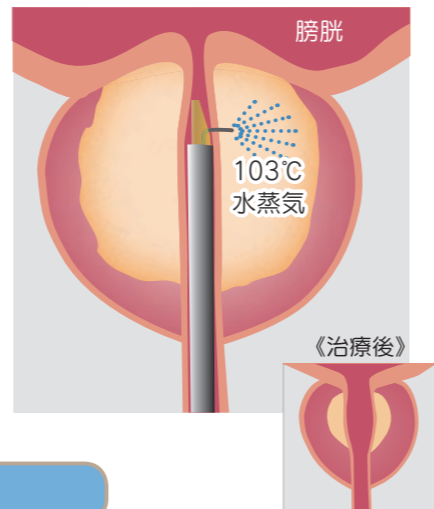


写真: Boston Scientific 社提供

経尿道的水蒸気治療 (WAVE)

- 尿道から器具を挿入。
- 先端の噴射口を尿道の壁から差し込んで103℃の水蒸気を噴射します。治療する大きさにより、4～10箇所噴射します。
- 尿道を確保するため、術後に膀胱留置カテーテルを挿入します。

※壊死した組織は、自然に吸収され縮小します。
※排尿の改善は2週間後から徐々に認められ、遅くとも3ヶ月後には治療効果が現れます。



経尿道的水蒸気治療 (WAVE) で広がる手術適応

出血が
ほぼない

「抗血栓薬」の服用を中止する必要がなく、血栓症のリスクを軽減

通常手術は出血を伴うため、血液をサラサラにする「抗血栓薬」を服用されている方は、手術の3日～10日前から薬の服用を中止していただく必要があります。しかし、服用中止は血栓症発症のリスクを高めるため、手術を断念せざるを得ない患者さんもいらっしゃいました。

「経尿道的水蒸気治療 (WAVE)」は傷が非常に小さく、出血もほとんどないため、「抗血栓薬」の服用を続けたまま、安心して手術を受けていただけます。

短時間の
手術

身体への負担が軽いため、手術の合併症が心配された方も治療が可能に

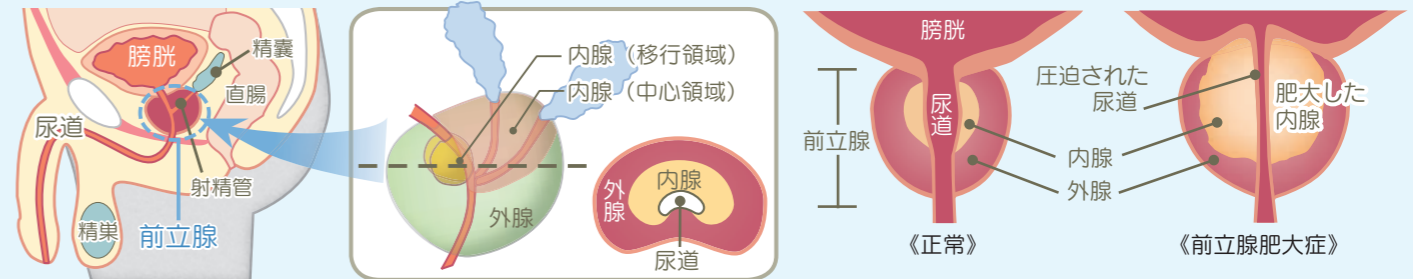
従来の術式「経尿道的前立腺切除術 (TUR-P)」では、全身状態が悪く合併症のリスクが高い、長時間の手術に耐えられない、認知機能の低下で入院生活が困難等の理由で、手術が行えない患者さんがいらっしゃいました。最新の「経尿道的水蒸気治療 (WAVE)」では、リスクの原因となる手術時間が短くなり、麻酔も下半身麻酔と身体への負担が少なくなるため、治療の選択の幅が広がります。

下半身
麻酔

尿が出にくい、頻尿、尿の切れが悪い…… その症状《前立腺肥大症》かも！

前立腺は男性だけにある臓器で、膀胱の出口にあり尿道を取り囲んでいます。前立腺肥大症は、前立腺の内腺 (移行領域・中心領域) が肥大する病気です。そのため、尿道が圧迫されて尿の通り道が狭くなったり、膀胱の容量が少なくなることで、排尿に関わる様々な症状が発生。高齢男性の排尿障害の原因の一つとなっています。

排尿困難
蓄尿症状
排尿後症状



(WAVE)

10分以内

手術時間

(TUR-P)

60～120分

ほぼなし

出血量

多い

下半身麻酔

麻酔

全身麻酔

30～80ml

手術可能サイズ

30～100ml

3～4日

入院期間

5～10日

膀胱留置カテーテルは挿入したまま退院。1週間後に外来で抜去します。

膀胱留置カテーテルは退院時に抜去します。

排尿ケアチームが活動しています

◎排尿に関する問題が解決するまで退院後も継続してサポートします。術後の尿漏れ 排尿障害

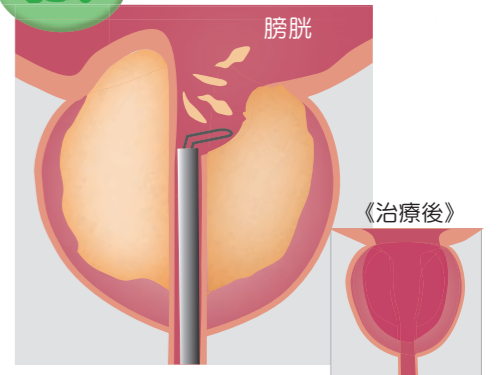
「排尿ケアチーム」は、泌尿器科医師を中心に、皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士、医事課の多職種で構成された排尿に関する専門チームです。排尿に関する問題を1日でも早く解決するため、「薬物療法・運動療法・行動療法・自己導尿指導」などの包括的な排尿ケアの提案や直接指導を行っています。

前立腺の手術後、尿漏れが続いたり長期の膀胱カテーテル留置や自己導尿が必要になった場合など、必要に応じたサポートを退院後も継続して行っています。

肥大した組織を削り取る 経尿道的前立腺切除術 (TUR-P)

従来

(TUR-P)



- 尿道から内視鏡を挿入。
- 内視鏡の先端に取り付けた切除ループに電流を流して、前立腺部尿道を含め、尿道側から少しずつ削り取ります。肥大した前立腺 (内腺) をくり抜くように確実に切除できます。
- 尿道を確保するため、術後に膀胱留置カテーテルを挿入します。

肥大のサイズが大きい場合 TUR-Pを選択

サイズが大きい場合、WAVEの噴射口の針が届かないためTUR-Pが選択されます。TUR-Pの機器なども進歩し、より大きなサイズにも対応できるようになっています。

泌尿器科 前立腺肥大症 — 治療の選択

前立腺肥大があっても、症状が軽度であれば経過観察のみで問題なく、治療が必要な場合も、まずは薬の服用が第一選択となります。しかし、放置すれば病状が進み、合併症を引き起こすことも。「年だから仕方がない」「大したことはない」と放置せず、排尿トラブルはお早めにご相談ください。



手術の選択となる病状

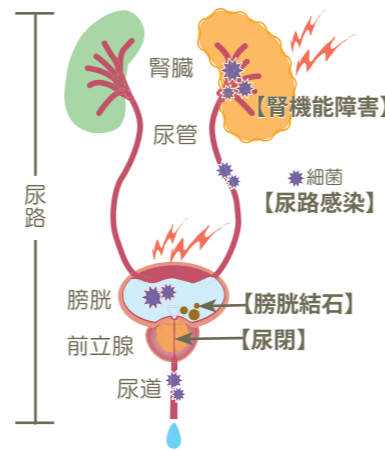
薬の服用で効果がでない場合、どの程度の症状で手術を行うかは、身体状況や年齢、患者さんの考え方にもよります。しかし、症状の悪化に加え下記のような合併症がある場合は、手術を選択する必要があります。

薬物療法で改善がない

合併症がある

手術の検討となる前立腺肥大症の合併症

- 【肉眼的血尿】前立腺部の尿道粘膜から出血しやすくなり、血が尿に混じる。
- 【尿路感染】排尿障害で膀胱内に尿が残ると、尿道から侵入した細菌で尿路の各所で炎症を起こす尿路感染が起こりやすくなる。
- 【尿閉】尿道がふさがり尿が出ない状態。
- 【膀胱結石】膀胱内に結石ができ、激しい痛みが生じることもある。
- 【腎機能障害】膀胱内に多量の尿が残り、腎臓から膀胱へ尿が流れなくなると、腎臓が腫れたり腎不全になることもある。
- 【溢流性尿失禁】膀胱内に常に多量の残尿があり、これ以上尿が貯められないため、いつも尿がちょろちょろと漏れる状態。



◆ WAVE は、前立腺肥大症の手術を諦めていた方に朗報の最新治療法です

前立腺肥大症の患者さんの中には、血液サラサラの薬を飲んでいたり合併症のリスクから、手術をしたくてもできない方がいらっしゃいました。「年だからもうええわ」と言われる方もいらっしゃいますが、薬を飲み続けていても症状が進んで、将来的に尿道カテーテルを入れながらの生活になる可能性もあります。排尿は生活の質(QOL)に大きく関わってきます。可能な限り多くの方に、排尿ストレスのない日常を取り戻していただきたい。それを可能にしたのが、今年4月から採用した最新治療法=WAVE治療です。安全性が高く出血もほとんどない手術ですので、これまで諦めていた方、手術を躊躇されていた方、前立腺肥大症の薬の副作用で悩んでいた方は、是非ご相談いただければと思います。

また、WAVE治療は性機能への影響が少ないというメリットもあり、それが、欧州やアメリカでWAVE治療が広まった要因の一つと言われています。

男女を問わず、排尿に関するお悩みは何でもご相談ください

排尿障害が長く続くと、膀胱に不必要な筋肉がついて、排尿するための収縮ができなくなることがあります。そうなれば、前立腺内の尿道を広げても排尿の改善が見込めないため、残念ながら前立腺肥大症の手術はできません。ですから、そうなる前の早い段階から治療に携わりたいと思っています。

来年春には、泉州地区では初となる排尿に関するトラブルを専門に扱うセンターも開設予定です。薬物療法をはじめ過活動膀胱のボトックス療法・骨盤臓器脱の手術など、診療科の垣根を越え男女を問わず幅広い治療を行いますので、排尿に関するお悩みがあれば、我慢せず早めにご相談ください。



能勢 和宏
(副院長兼泌尿器科主任部長)

【学会】
大阪泌尿器科臨床医学会理事
【資格】
日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本泌尿器科学会
泌尿器科腹腔鏡技術認定医
日本がん治療認定医制度暫定教育医

産婦人科を受診される方へ

AI問診をご利用ください

AI(人工知能)とは?

「Artificial Intelligence」を略した言葉で、人工的に作られた知能を持つコンピュータシステムやソフトウェアを指します。

AI問診は、WEB端末を用いて行うAIによる事前問診です

診断・治療・医薬品開発など、医療分野でのAIの活用は、医療の質の向上を目指し大きく広がっています。

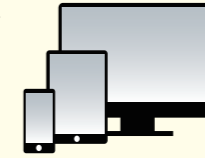
市立貝塚病院でも、2023年4月より【AI問診】を開始しました。

【AI問診】の採用により、スムーズな診療と適切な診断につながることを期待されています。

試験的な導入でもあり、現在は産婦人科を受診される患者さんのみの対応です。

スマートフォン・タブレット・PCを使い 患者さんのタイミングで事前に行えます。

WEB上で質問に答えるため、場所も時間も選ばず、「入力が苦手」という方でも大丈夫。基本は画面をタッチまたはクリックするだけ。入力項目はとてまもなく設計されています。



AIが患者さんに合わせて柔軟に 詳しい問診を進めます。

従来の紙の問診票では、画一的な質問しかできませんでした。【AI問診】では、問診にお答えいただいた症状・病歴などをAIが判断し、患者さんに合わせた最適な質問を行います。そのため、より詳細な問診が可能になります。

AI問診のメリット

- 事前に詳細な問診ができるため、疾病の判断や選択が効率よくでき、診療時間の短縮が見込める
- 詳細な問診内容から、症状に合わせた診療科を受診できる
→問診により消化器内科を受診いただいたケースもあります。
- ペーパーレス化や事務作業の効率化にもつながる

ご利用対象

- 当院の産婦人科を初めて受診される方
- 1年以上受診がなくご予約のない方
- 1年以内に受診しているが、新たな症状で受診される方

産婦人科外来窓口で 職員がお手伝いします!

【AI問診】の操作に不安のある方は、受付時にご相談ください。ご自身のスマホか病院備え付けのタブレットを使い、スタッフがサポートします。
※紙の問診票もご利用いただけます。

AI問診の利用方法

市立貝塚病院ホームページから

「ホームページ トップ」

「診療科・部門のご紹介」

「産婦人科」 初診の方へ
AI問診はこちらをクリック

QRコードから



上のQRコードを読み込んでください。

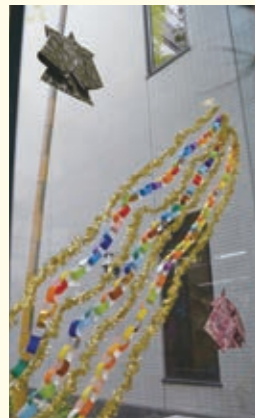
【AI問診】のシステムに入ります

※問診の途中で続けられなくなった場合は、中断も可能です。但し、再度入力する際は、最初からお願いいたします。

最後に【受付番号】(PHで始まる番号)が表示されます。受診時に、受付でご提示いただきますので控えておいてください。



■ 病院ボランティア活動レポート「七夕飾り～星に願いを～」



病院ボランティア「こすもす会」の皆様による「七夕飾り」が4年ぶりに行われました。和紙の織姫と彦星、天の川をイメージした飾りを施した中庭のガラス面をバックに、笹には色鮮やかな七夕飾りが装飾されました。外来患者さんや付き添いのご家族も七夕飾りの前で足を止め、設置された短冊に願いを書きご自身で飾っていました。入院患者さんの短冊は、病棟の看護師が預かり笹にしっかりと固定。全ての飾りつけが終わったときには、笹が重みで下がるほどでした。お願い事の多くは、ご自身と家族の健康に関するものでしたが、新型コロナウイルス感染やウクライナ情勢などが注目されたためか「世界中が幸せになるように」「世界平和」などが多くみられたのが印象的でした。

「七夕飾り」は、患者さん・病院職員一人ひとりの想いを短冊にのせて、7月3日から7月14日まで1階のエスカレータ横に展示されました。



七夕飾りを準備した「こすもす会」の皆さんと職員

病院ボランティアの活動に参加しませんか！

【申込・お問い合わせ】市立貝塚病院 総務課
☎ 072-422-5865 (担当：森上)

病院ボランティア「こすもす会」は平成21年9月に発足。ボランティアさんの献身的な活動には、患者さんやご家族だけでなく職員も勇気づけられてきました。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響で以前のような活動ができない状況でしたが、今年は七夕イベントも開催され、これからの活動を支えてくれる新しいボランティアさんを募集しています。ご興味のある方は是非お気軽にご連絡ください。

イベントの
企画・開催

総合案内
付近の
案内や介助

庭園管理
草木の
手入れ



■ 乳がん検診とブレスト・アウェアネス(乳房の健康チェック) 出前講座のご案内

日本人女性のがん罹患で最も多い「乳がん」を早期発見するためには、定期的に乳がん検診を受けることが重要です。さらに、日頃から自身の体(乳房)に関心を持ち、変化を感じればすぐに医師に相談していくことを「ブレスト・アウェアネス」といいます。当院では医療スタッフが地域に出向き、「ブレスト・アウェアネス」を日々の生活でどう取り入れるかお話しする取り組みを行っています。

【対象】どなたでも、少人数でもご相談ください

【範囲】貝塚市内または近隣市町(車で片道60分以内の場所)

【日時】平日 10:00～16:00(1時間程度)

【内容】講座約40分と自己チェック方法の実技約10分・質疑応答

【申込・お問い合わせ】市立貝塚病院 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865

※感染対策のため、人数制限やマスク着用などをお願いする場合があります。

無料

乳がんキャラバン隊



■ 市立貝塚病院市民公開講座のご案内

| 開催日時 | テーマ | 講師 | 会場 |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------|
| 2023年9月26日(火) 14:00～15:00 | 感染症対策の知識を身に付けよう | 感染管理認定看護師 楠本 誉士朗 | 市立貝塚病院 7階講義室 |
| 11月16日(木) 14:00～15:00 | 「黄斑のトリセツ」 黄斑の病気について解説します | 眼科部長 医師 三浦 和美 | 市立貝塚病院 7階講義室 |
| 2024年1月17日(水) 14:00～15:00 | 高齢者のお肌を守るスキンケアのポイント | 皮膚・排泄ケア認定看護師 高浦 聖乃 | 市立貝塚病院 7階講義室 |

※マスク着用でご参加ください。当日、発熱のある方はご参加いただけません。

【申込・お問い合わせ】

- 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865
- 1階総合案内でも予約受付しております
- FAX 受付：072-439-6061



手話対応のご希望は
開催の1週間前までに
ご連絡ください。

無料
要予約

市民公開講座



(お名前・連絡先・申込する講座テーマ・日程をご記入のうえ送信してください)

◎先着順で定員(30～40名)になり次第受付終了

医療従事者向け情報(地域連携ニュース)

第10回 こすもす懇話会のご報告

副院長・共同診療部長 横井 猛

地域の先生方、スタッフの皆様には日頃より大変お世話になっております。

去る5月13日(土)コスモシアター中ホールにて、4年ぶりに「こすもす懇話会」を開催させていただくことができました。「こすもす懇話会」は、市立貝塚病院と地域の医療機関、施設の方々との交流をはかる絶好の機会として、年1回開催しております。今回コロナ禍での様々な困難を乗り越えて、久しぶりに多くの地域の皆様とお会いできたことは感無量でありました。今回、院内・院外合わせて129名もご参加をいただきました。お忙しい中、有難うございました。あらためて御礼申し上げます。

貝塚市酒井市長、当院片山総長、貝塚市医師会市川会長のご挨拶に始まり、講演会では当院長谷川院長(総合診療科が果たす役割)、能勢副院長(新しい前立腺肥大症手術について)、玉木顧問(遺伝性乳癌卵巣癌症候群)による最先端の医療についてのお話を拝聴できました。

その後、貝塚市役所新庁舎多目的ホールに会場を移しての情報交換会にも、多くの方々にご参加いただきました。当院各診療科からのアピールと挨拶、続いて院外からご参加いただいた皆様のご挨拶も頂戴しました。久しぶりの懐かしい面々にあっという間の2時間、話はつきませんでした。非常に有意義な時間となりました。今後も年1回開催していく予定にしていますので、来年度もよろしく願い申し上げます。

今後も私たち市立貝塚病院と地域の先生方、スタッフの皆様が更なる連携を深め、共により良い医療を提供していくことを心から願っております。日頃のご尽力に感謝し、これからも一層のご協力をお願い申し上げます。



「総合診療科が果たす役割」について講演する当院の長谷川院長。



地域の連携施設の方々や当院医師との交流と情報交換の場。



たくさんの方にご参加いただいた「懇話会」の開催時。